

光星工大一下し優勝

県高校野球春季地区大会

高校野球の青森県春季地区大会は25日、八戸地区で

3位決定戦と決勝を実施した。決勝は八学光星が大量12得点を挙げ、工大一を七回コールドで下して優勝。3位決定戦も八戸工がコールド勝ちを収めた。

八学光星は初回に先制を許したが、その裏に3点を挙げて逆転。二回の4得点を含め着々と加点し、七回に伊藤優平の2点本塁打でコールド勝ちを決めた。先発の主戦櫻井一樹は、10安打

【決勝・工大一―八学光星】
7回八学光星1死三塁、伊藤優平が右越え2点本塁打を放ち、コールド勝ちを決める―長根

打を浴びながらも要所を締めて完投した。

春季地区大会は29日に青森地区の3試合と五所川原地区の1試合を消化して全日程を終える。春季県大会の出場校を決める地区予選は、八戸地区などを皮切り

八戸地区

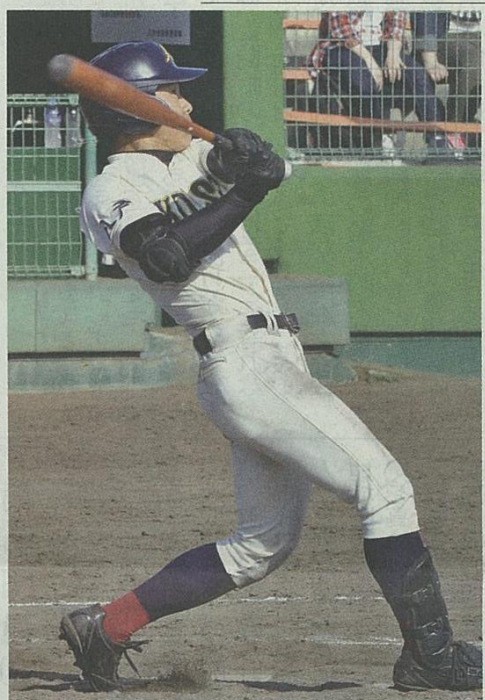
(長根球場)

▽3位決定戦
八学 00500600
八戸 20000000
(7回コールド) 211

(林泰輔)

▽決勝
工大一 1002001
八学光星 3400113x124
(7回コールド)

(工)伊藤、高森―小秋沢
(商)佐藤―川守田
▽三塁打 伊藤(工)▽二塁打 石沢(工)田村昂(商)



▽三塁打 鈴木(工)櫻井、小林、益田(八)▽二塁打 田高(工)伊藤、櫻井(八)
打力にさらに磨き

○:あと一本が出ずに敗れた先月のセンバツを経て、春季地区大会で再スタートを切った八学光星チーム。決勝で工大一を相手に15安打、大量12点を奪い、打撃に比重を置いた練習の成果を見せつけた。

4打数4安打で、七回はコールド勝ちを決める2点本塁打を放った伊藤優平。「中堅方向を意識して、結果を出すことができた」と満足げに振り返った。

次の舞台は春季県大会。目指すのは圧倒的な勝利だ。甲子園出場が懸かる夏の県大会を見据え、「絶対に光星には勝てない」と相手に印象付けるような戦いをしたい」と意気込んだ。